沙羅の花

芥川龍之介

沙羅木（さらのき）は植物園にもあるべし。わが見しは或人の庭なりけり。玉の如き花のにほへるもとには太湖石（たいこせき）と呼べる石もありしを、今はた如何（いか）になりはてけむ、わが知れる人さへ風のたよりにただありとのみ聞えつつ。

また立ちかへる水無月（みなづき）の
歎きをたれにかたるべき。
沙羅（さら）のみづ枝（え）に花さけば、
かなしき人の目ぞ見ゆる。

（大正十四年五月）

底本：「筑摩全集類聚　芥川龍之介全集第四巻」筑摩書房
　　１９７１（昭和46）年６月５日初版第１刷発行
　　１９７９（昭和54）年４月10日初版第11刷発行
入力：土屋隆
校正：松永正敏
２００７年６月26日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんで

す。